

# 第214号

平成31年3月10日号

社会福祉法人 一誠福祉会

〒441-8066 豊橋市王ヶ崎町字上原1番地145  
TEL (0532) 48-5111 ・ FAX (0532) 48-5112



豊橋に春を呼ぶ鬼祭 奉幣使の大役を務める理事長 (H31.2.10)

## 目 次

- 事業展望 新年度に向けての所感……………2
- （福）一誠福祉会理事長 滝川 一亮
- 高齢福祉施設の整備 自分と施設との関わりをのびかて3
- （福）一誠福祉会評議員 竹尾 誠
- デイ特集……………4
- 作業在 伝統ある作業在デイへようこそ！
- 介護士副主任 安藤 裕司
- 介護士副主任 安藤 裕司
- ベテランハイパーリハビリをはじめとするプログラの魅力
- 介護士主任 森 幹登
- 吉かわー人が自慢の隠れ家風「デイサービス
- 介護士主任 滝川 一善
- 一歳楽在「休まず行きたくなるデイ」目指し
- 介護士副主任 小林 真紀
- 初釜……………8
- 平成三十一年 作業在初釜茶会
- 茶々倶楽部豊橋講師 岩田 宗香
- 平成最後の初釜 麗楽荘秀々倶楽部委員長 岩崎由美子
- リハビリ講座 脳卒 中その④……………10
- 老健ヘルウーハイツ 理学療法士主任 杉本 昌洋
- 研修報告 車椅子体験「基本に立ち返って」
- 特別看護老人ホーム作業在 介護士主任 湯浅 順一
- ふるさとの城郭……………12
- シリーズ② 全国に残る江戸時代の「陣屋跡」(後編)
- 老健ヘルウーハイツ生活相談員主任 高橋 初典
- 言語聴覚「シリーズ」口から始まる介護⑭
- 老健ヘルウーハイツ言語聴覚士 本田 雄一
- 施設だより……………15
- ＊作業在……………22
- 楽しい福笑い 特養介護士 石川 涼子
- 節分に福を呼び込むシート介護士 菅澤 洋介
- ＊美光ハイム……………
- 冬の定番「鍋会」 介護士 萩森 明子
- ＊倶楽荘……………
- お好み焼きの誕生日会 介護士 小久保若奈
- ＊GHくらら……………
- 恵方巻＆豆まき 介護士 石井 靖子
- ＊ス楽荘……………
- ス楽荘のお正月 介護士 神谷 宜則
- ＊ベルウーハイツ……………
- 美味しい「甘酒」作り 老健介護士 山崎 美保
- 新年会は鍋料理で デイ介護士 橋本 由依
- ＊DSC吉かわ……………
- 自慢の給手紙教室 介護士 西尾 有里
- ＊麗楽荘……………
- 一誠神社で初詣 特養介護士 井手 友莉
- スノードーム作り デイ介護士 中島 正江
- ＊和光ハイム……………
- 和やかな新年会 生活相談員 田中 育代
- ＊GHくらら……………
- 春を呼び節分行事 介護士 原田千代子
- ＊奇楽荘……………
- 合同運営推進会議 介護士 鈴木 幹奈
- ＊GHくらら……………
- ゆかりの毘鹿神社で初詣 介護士 柿野 直美
- 施設日誌【職員募集中】／編集後記：22～24

## 事業展望

## 新年度に向けての所感

(福)一誠福祉会理事長 滝川 一 亮

昨年は当法人にとって大きな節目となる創立30周年の年で、記念式典など無事にかつ盛大に執り行う事ができました。

そして新たな気持ちで迎えた31年目の今年は、奇しくも新年度のスタートとともに新元号が発表されます。当法人としてもこれを機会に、さらなる新生を展望していかなければなりません。

乗り越えていかなければならない山はいくつもありますが、当法人の理念である「ノーマライゼーション」の実現を目指し、また接遇面については「Smile Speed Smart

の3Sの実践を合言葉として、達成した先には必ず大きな喜びが待っていると信じ、前向きに取り組んでまいります。

新年を迎えてまだ松の内も明けない頃、当法人のある施設に立ち寄る機会がありました。ちょうど食事時でしたので、なかなか食べ物を口に運ばれない利用者さんに笑顔で諭す様に優しく話しかけながら、辛抱強くペースを合わせつつ介助を行っていているスタッフがいました。また、独り言を繰り返す利用者さんに対しては笑顔で相槌を打ちながら、転倒しない様

を配りつつトイレ誘導をしているスタッフがいました。歳とともに段々身体が不自由になったり認知症になったりして、普段の生活にも困っていらっしゃるお年寄りに寄り添っていく事とは、相手の心になつて接していくという事です。老人施設では当たり前の情景と言えども、年末年始から笑顔で頑張ってくれているスタッフの一途で誠実な姿に、思わず胸が熱くなりました。そんな一生懸命頑張ってくれているスタッフを大切にしていくなにも、さらなる人材確保に努めるとともに、業務負担を軽減できる何らかの方策を模索していきたいと思っております。

また、利用者様やそのご家族から一つでも多くの感謝の声を頂ける様に、そしてお叱りの言葉にも謙虚に耳を傾けながら、より良い介護サービスの提供に努めてまいりたいと思っております。

今年には十二支で最後の亥年です。猪は子沢山のために繁栄の象徴とされます。多くの良き人材が集まってくれる施設を目指します。そして、利用者の方々により良いサービスの提供をすべく、今年度は猪突猛進、職員一同一丸となつて突き進んでまいります。

以上、この4月から始まる新年度に向けての事業展望につきまして、先ずは基本となる所感を述べさせて頂きました。

## 自分と施設との関わりの中なかで

(福)一誠福祉社会評議員 竹尾 誠

来年私は古希を迎える

歳となり、自分自身の健康には十分留意している積りですが、齢を重ねる度に社会がどのような対応してくれるのか不安を覚える今日この頃です。

今でも設計の仕事に携わっています。最初に高齢者施設に関わった約40年前のこと、そこは公的施設であったため、設計や補助金申請で何度も行政を訪ねた記憶があります。当然ながら設計・建築上の縛りは多く、法律書を抱えて認可を頂けるよう努力しました。その体験が実を結び、多くの高齢者施設関係の仕事をする

することになりました。

昭和の時代には、世界でも類を見ない高齢者社会の到来は予測できず、高齢者施策は後手を踏んで、やっと平成元年にゴールドプランが発令され、施設・事業所整備が急ピッチで進められました。

ある特別養護老人ホームの汚職事件が発覚したその後には、補助金での整備が厳しくなり、工期内で作業を進めるのに大変苦慮したものでした。ちようど税金投与の限界もきていた時期です。その4年後の平成12年には、新たに介護保険制度が制定されました。

介護保険制度の下で、

居室の広さが多床室では10.65㎡に、ユニット型個室では13.2㎡にと、終の住処としての居住空間の充実が唱えられ、多床室からユニット型個室に施設形態は転換しました。

しかし、ユニット型はホテルコストのため低所得者層にとって入居は困難であり、さらなる法改正により入居者の重度化と介護スタッフの配置大が生じるなど、理想と現実の違いがありました。

その後、特にスタッフ確保は現在のそして将来における大きな課題となっており、2025年には、34万人の介護人材不足に陥ると予測されています。そしてその解消法の一つが外国人雇用です。

今現在、建設現場でも

多くの外国の方が働いています。コミュニケーションの問題もありますが、AIの発達により通訳がいらなくなる時代がくるかも知れません。ある法人では、東南アジアにスタッフを派遣し、現地の方を育成した後に、日本で就労してもらうシステムを構築したそうです。施設を利用している方も、外国人を通じて色々な文化に触れ合えるのが楽しみになる時代がくるのではないのでしょうか。

私が施設に入所したら、羞恥心を伴うプライベートル面の世話については、むしろロボットを選択します。団塊の世代は価値観が様々です。個別での対応を期待します。

## デイ特集

## — 作楽荘 —

## 伝統ある作楽荘、デイへようこそ！

介護士副主任 安藤裕司

開所以来30年以上という、豊橋市で一番初めにできた伝統あるデイ事業所なので、職員一同誇りを持って働いています。

介護現場で経験豊かな職員達が、日々家庭的な雰囲気でお迎えをして、どうしたら利用される皆様に喜んで頂けるのか、楽しんで過ごして頂けるのかを考えながら、常々のミーティングでアイデアを出し合っています。

職員が企画し、ご利用者自身が作品作りをする。毎月の手作り週間には、塗り絵時計やキーホルダー・手作りうちわなどに挑戦して頂いています。



会話もはずむ手作り週間

完成品は廊下や入口に掲示・陳列しておくので、歩行訓練や口腔ケアの帰り際、利用者の方同士で自作の出来栄えについて嬉しそうに話し合っている姿もよく見かけます。

毎月開く「絵手紙」や「フラワーアレンジメント」の教室も大好評です。未経験の方でも講師の先

生や職員がサポートしますので、安心して参加して頂けます。

現在豊橋市内に100以上あるデイサービス事業所の役割としては、高齢者の方の交流は勿論のこと、いつまでもご自分の家で生活をしていくための身体機能の維持・向上が求められています。

そのための機能訓練としては、理学療法士や専属の看護師機能訓練員による体操や体を動かすゲ



理学療法士による集団リハ

ーム、平行棒や歩行器、そしてノルディックウォーキングなど、下半身の強化を主としたメニューとなっております。来年度には上半身の訓練も充実させていく予定です。

またこの4月からは、柔道整復師のデイ配属が予定されており、マッサージも取り入れて日頃の疲れを癒して頂くと思っています。そして、まだ慣れていない方のため、短時間利用にも対応すべく現在検討中です。

「作楽荘に行けば、楽しくて1日があつという間に過ぎる」と思っているように、サービスマンでは質をさらに向上させて、接遇面では笑顔が常に絶えないように心がけたいと思っています。

## —ベルビューハイツ— リハビリをはじめとするデイケアの魅力

介護士主任 森 幹 登

老人保健施設ベルビューハイツの「通所リハビリテーション」（デイケア）について紹介いたします。今回の『デイ特集』の中では、唯一のデイケアです。

覚えている方もみえると思いますが、当事業所は昨年、本誌の『事業所紹介』欄に投稿させていただきました。掲載内容には多少の重複箇所もあるかと思われませんが、ご了承ください。

さて、デイケアとは、通常のデイサービスに加えて専門のスタッフによるリハビリが付随する事業所です。当事業所には介

護士・看護師・事務員等のほか、デイケア専門スタッフとしてPT（理学療法士）・OT（作業療法士）およびST（言語聴覚士）の計9名が所属しています。とくにSTは、現在の不足状況により希少価値は高く、わざわざ県外から通われている利用者もみえます。



STによる呼称・音読の指導



症状ごとのリハビリメニュー

その専門スタッフによる個別リハビリでは、利用者各々の既往歴・病状あるいはADL（日常生活動作）ごとに計画書を作成します。目標を設定し、日々の身体状況を確認しながら必要な最良のリハビリを提供させていただきます。

次に設備と環境について、まず入浴から。一般浴と特別浴（座浴・寝浴）はもちろんのこと、小浴として、自立度の高い利

用者専用の浴室も用意しています。

カラオケ機材はシルバ1世代に人気の「DAM」を設置し、ネット配信された15万曲以上が常時スタンバイしています。利用者の皆様は、懐かしい昭和の名曲を歌ったり聴いたりしながら、青春を取り戻されます。

そして充実した行事とレク。季節感溢れる行事を月々企画します。バスハイクほかいろいろ趣向を凝らしたレクは、相互交流の場でもあります。

「今よりも、少しでも前へ！」と努力される皆様、楽しく通う前向きな事業所です。興味を持たれた方はご連絡ください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

# 吉かわ 人が自慢の隠れ家風デイサービス

介護士主任 滝川一善

今年の六月に開所から十二年目を迎えるデイサービスセンター(DSC)吉かわですが、近隣の人にすら所在地が分からないうと時々言われるように、施設は通りに面しておりません。看板はあるのですが、車を運転していると残念ながら目に入りにくいようです。



割と大きな看板なのですが…

やや隠れ家風に住宅地にたたずんでおり、駐車場の一角にある畑では、季節の野菜を育てては収穫し、昼食に一品添えたりおやつにしたりと、利用者さんに召し上がっていただいております。大きな浴槽のある浴室は昨秋リフォームし、シャワーチェアも新調して綺麗にしました。専用のカラオケ部屋も大人気です。時折企画される「吉かわ新喜劇」が近年の名物ですが、タイミングが合わないところもたくさんあります。毎月月初旬には、当月の予定や前月の記録をまと

めた「吉かわだより」を利用者さん並びに各担当のケアマネジャーさんにお配りしております。また、ポスターサイズにして館内にも掲示してありますので、それを見ながら和気藹々といった場面も多く見かけます。過去の記事にもありましたように、豊橋市内におけるデイサービス事業所の数は百を超えている上に、DSC吉かわの位置する吉田方地区およびその周辺は群雄割拠の様相を呈しております。そんな中、当法人唯一の単独デイサービス事業所が十年以上運営できたのは、開所から現在までに配属された職員たちの努力の賜であり、とりわけ在籍十年超のパートスタッフ

に依る部分は大きく、まさしく吉かわの「顔」です。職員も利用者さんも皆頼りにしています。決して偉ぶらず、協調性を重視し、手もぬかず、利用者さんの声には真摯に耳を傾けて行動すること常を意識してくれています。正職員も他のパートスタッフも、利用者さんと良好な関係を築くよう、良い雰囲気を生み出せるよう努めています。今年もまた近隣に新たなデイサービス事業所が開所します。どうせ利用するのなら奇麗で最新鋭の設備のある施設がよいと思われる方も多いでしょう。ですが、そんな「モノ」に負けない「人」がここ、DSC吉かわにいることをお伝えします。

— 麗楽荘 —

「休まず行きたくなるデイ」目指し

介護士副主任 小林 真紀

ここ二、三年で異動や退職により職員の顔ぶれが変わりましたが、新生麗楽デイとして、「その人がその人らしく生活できるように」に支援しましよ

「ただこう」と考えるようになりました。また仮に「自分だったら…」自分の祖父母だったら…」と、思いやりのある介護を目指しています。勤続十年以上の経験豊富な職員が大半なので、毎日様々なアイデアがわいてきます。

例えば、介護支援の際に訴えが多岐にわたる方がいらっしやる状況について、「その方の要求ばかり満たしていたら他の方がかわいそう」「少しわがままではないか」などのいろんな意見がありました。この目標を立ててからは、「要求が多いのもその方の個性なので、その方らしく過ごしてい

たいです。新築という土地柄長い間畑仕事をしていた利用者の方、土いじりが得意な方、身の回りの物を手作りしてきた器用な方などが多く、職員がいつの間にか利用者の方に指導されてきたこともその理由です。

デイルームからは、中庭で季節の花を寄せ植えしたり、ブドウや甘夏を採ったりする生き生きとした表情が見られます。しかし野菜の世話をする時には、「芽は切った方がいい」「いや切らない方がいい」といろんな流派？があり、職員が悩まされることもあります。

手芸では、ハーバリウム・Tシャツバッグ・ドレスタオル・ネックウォーマーなどを作りました。「昔はこんないいもの無かったねえ」などと、色とりどりの材料を見ながら目を輝かされています。「あなた、こうするだに」「なに？こうするだかん？」と利用者同士で工夫し合い、教え合う情景もみられます。

そして機能訓練では、エスカルゴ（自動自転車こぎ）が大好評。「これしたら、足が軽くなるだよ」と自慢しながら、訓練に励まれています。利用者の方が時間や速さをご自分で決めて、自発的に取り組まれています。



麗楽のデイは楽しいぞん

「その人らしく生き生きできるデイ」そして「休まんで行きたいと思えるデイ」を日々目指して、これからもアイデアを出し続けていきます！

初 釜

平成三十一年 作楽荘初釜茶会

茶々倶楽部豊橋講師 岩 田 宗 香

茶の湯の世界では、年の初めに穏やかな良き年になることを祈りつつ釜をかけます。一年の計は元旦にありと申します。皆様方もまた、各々今年

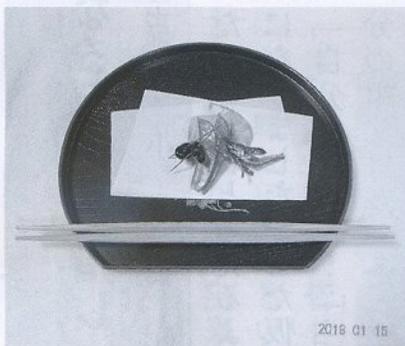
の目標を胸に秘めつつ、初釜の席に着かれたことと思われます。そして、今の元号はこの四月までで改元されま

すので、今回は平成を偲ぶ初釜となりました。道具組にもそんな思いを込めまして、縁起の良い取り合わせとか、亥の干支にちなんだ趣向など心がけました。

初釜には点心を添える習慣もあることから、講師より茶一服前の心ばかりの点心を用意させて頂

きました。そして常にはお稽古ができない、膳の受け取りや返却の所作につき、畳の座敷に正座して学びました。

その膳には、「まめに暮らせませうよ」と黒豆を、「腰が曲るまで長寿に」とエビを、「尾頭付きで五穀豊穡を願い」小魚を田にまいたことから田つくりを並べて、新春を寿ぎました。



講師手作りのお料理

床には、九世家元宗白

様御筆の「春雲五色開」を掛けさせて頂きました。

春が来ると一つの花が五枚の花びらをつけて美しく花を咲かせる…、といった意味合いです。

茶道を通じて皆様方が大きく成長し、未来に羽ばたくように願いを込めました。今年も夢に向かって頑張りましょう。

《会 記》

床 春雲五色開 九世家元 宗白 筆

花入 尊式 紫交趾 翠蘭 造

花 紅梅 椿 翠蘭 造

香盒 鏡餅 鳥山美水 作

釜 高砂 時代写 般若 多茂都 造

炉縁 七宝 般若 多茂都 造

水壺 手桶 詩絵 紫香 造

薄茶器 平棗 扇面詩絵 造

茶杓 義山 作 銘 福寿 造

蓋置 織部 光 陽山 窯

建水 内朱 曲 泉園 詰

御茶 若竹 泉園 製

菓子 雪中梅 若松園 製

器 絵馬型 象彦 造



膳の受け渡し

《実技》

○膳の受け取り

亭主は膳を持ち客前に座る。客は一膝進み、膳を受け取り、持ったまま待つ。亭主は一膝下がり、主客同時に一礼する。客は膳を置き一膝下がる。

○膳の返却

客は一膝進み、膳を渡したら一膝下がり、主客同時に一礼する。

初 釜

平成最後の初釜

麗楽荘茶々倶楽部委員長 岩崎 由美子

1月8日に、麗楽荘施設内研修にて初釜を開きました。

通例1月は茶々委員が担当する月でしたので、講師の先生方のご指導の下、お正月ということでおめでたいお道具も取り入れようとの方針で、香盒や水壺・器を決めていきました。



縁起の良い鶴のお掛け物

お床は先生方と相談の上、鶴のお掛け物にさせていただきます。

さて、準備も万端整いまして、荘内研修茶々倶楽部の当日を迎えました。まず茶々委員から、お屠蘇の由来や頂き方を説明致しましたが、第一声から緊張してしまい上手にしゃべる事が出来ず、先生に助けていただく場面が何度もありました。

何とか無事に茶々研修を終えることが出来ましたが、人前で話すことが苦手な私としては、とても良い経験になりました。これからも精進してまいります。



趣向を凝らしたお道具立て

《初釜》会記

- 床 耕月老師 筆
- 花入 鶴首 万祥山 造
- 香盒 蘭 龜
- 釜 真形釜 六代目丹嘉 敬典 造
- 炉 唐銅朝鮮風炉 政光 造
- 水壺 仁清 手桶 暁山 造
- 茶器 松喰鶴 中村宗悦 造

茶杓 銘 瑞雲

大橋香林 造

茶盤 黒染 銘 松風

昭楽 造

蓋置 福寿草

建水 福寿祿 字入

御茶 千代昔

壺中庵 製

菓子 花びら餅

豊壽園 製

器 みやこ羽子板皿

〈割り稽古〉

○お屠蘇の頂き方



正しい姿勢を心がけ：

## 脳卒中 その④

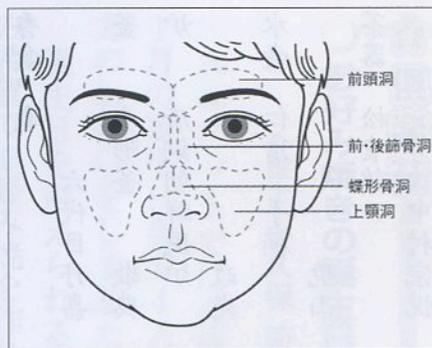
老健ベルヴューハイッツ理学療法士主任 杉 本 昌 洋

飛行機頭痛は、降下時に出現することが多いとされています。しかし、まれに上昇時にも起こるそうです。また、ほとんどすべての症例から、海岸沿いに位置する空港に着陸する時に発症し、内陸の空港では起こらないとのこと。

その症状は、片側の眼の奥の針で刺されたような痛みや片側の激しい頭痛が代表的です。痛みの持続時間は30分以内で、急速に痛みは治まることが多いそうです。私の場合には右顔面のしびれから始まり、次に右眼の奥が痛み出し、そして右半

分の頭痛へと移りました。持続時間は30分以上だったような気がします。かつては男性に多いとか痛みを生じるのは右側が多いなどとされていますが、報告数が少なく断定できないそうです。

さて、肝心の飛行機頭痛の原因は？ それは副鼻腔が気圧の変化の影響を受けることが原因だと考えられています。副鼻腔は頭蓋骨にある空洞の部分で鼻の空気の通り道（鼻腔）と交通しています。つまり副鼻腔と外の空気とはつながっています。飛行機内は上空では低い気圧になっていて、



副鼻腔 4 対の空洞

副鼻腔内もまた気圧が低い状態です。しかし鼻炎や副鼻腔炎があると、飛行機が降下し気圧が上昇しても、副鼻腔と鼻腔との空気の流れが十分に保たれない状態になることがあり、気圧のコントロールがスムーズにできなくなってしまう。その結果、副鼻腔の篩骨洞の粘膜に対する急激な気圧の変化が三叉神経を刺激し、頭痛などの症状を起こすとされています。

では、飛行機頭痛を防止するにはどうすれば良いのでしょうか？ そもそも私が調べた医学テキストには、飛行機頭痛という言葉すら載っていませんでした。インターネット上には、脳外科医などの意見として、海岸沿いの空港で離着陸する場合には予防的に頭痛薬を服用したり、即効性のある点鼻薬を搭乗前や下降時に使用したりすると、予防効果が期待できると記載されていました。

降下時に頭痛が起こったことから、気圧の変化が原因だということは確信していましたが、脳の血管ではなく副鼻腔が関係しているとは思ってもありませんでした。とりあえずは一安心しました。

## 研修報告

## 車椅子体験 ～基本に立ち返って～

特別養護老人ホーム作楽荘介護士主任 湯 浅 順 一

作楽荘では看護職員による基礎学習会が毎月開催され、介護関係始め多くの職種の職員が参加しています。看護・介護の知識・技術の基本を勉強させて頂く絶好の機会となっています。そこで、私達介護職員としても基本に立ち返り、介護される側に立った実技研修をしようと、車椅子体験の研修を実施しました。

このテーマを選んだ理由としては、車椅子の入所者には日中フロアに移動して椅子に移乗し、椅子での生活をして頂いているのですが、職員から、椅子に移乗せずにそのまま車椅子の生活でも良いのではないかとこの疑問が出たからです。そこで、そんな一部職員の疑問を払拭するためにも、職員自身が日中入所者と同じように車椅子で過ごしてみれば気持ちが変わるのではないかと、今回の車椅子体験になりました。

体験内容は、1日8時間、フロアの角に設置した一人用テーブルの前で車椅子に乗って過ごすことです。そのルールは、「自分からは話し掛けない」「作業は何もしない」「左右高さの違ったフットサポートに足を乗せる」の3つです。体験後には、感想や今後の改善点、職員の動きを観察して気づいた点につきレポートしてもらいました。



同じ姿勢は辛いものです

レポートには、「お尻が痛い」「下半身が冷える」「誰からも声を掛けられず孤独」「時間の経過が遅い」「眠くなる」「フットサポートの高さの違いによるストレス」「入所者が声を掛けてくれた時の安心感」「車椅子で移動する時の怖さ」などリアルな感想がありました。

今後の改善点として、「すわり心地の良い椅子の必要性」「同じ姿勢の時間の短縮化」「膝掛けの用意」「入所者に合わせたフロアの温度・湿度管理」「忙しい中でも必要な声掛け」「車椅子を押す前の声掛け」などの意見とともに、「日課の中で何か自分がやれることが欲しい」と訴えています。そして、職員の動きを観察してみて、「入所者の目線に合わせず介護する人」「笑顔がない人」「目立つ職員同士の会話」「言葉遣い(命令口調・タメ口)」「早口で理解できない声掛け」「ドアの開閉や物を移動する時の大きな音」などが気になると、不満が多く出ました。

今回の車椅子体験で入所者の皆さんの気持ちがいかに再確認できましたが、さらに、お年寄りの目線に合わせた基本の繰り返し練習が何より大切だと再認識させられました。

今後もテーマを決め、より良い介護に向けて研修を重ねたいと思います。

ふるさとの城郭

シリーズ⑳ 全国に残る江戸時代の「陣屋跡」(後編)

老健ヘルヴェーハイツ生活相談員 副主任 高橋 初典

全国に残る江戸時代の「陣屋跡」、今回はその後編として紹介します。

まずは、兵庫県丹波市柏原町にある「柏原陣屋(かいばらじんや)跡」です。柏原の地は、慶長三年(1598年)に織田信長の弟信包が三万六千石で入封し三代続きますが、江戸時代前期の慶安三年(1650年)には、嗣子なく断絶してしまします。以後四十五年に亘り、幕府直轄地(天領)として支配されます。その後の元禄八年(1695年)、信長の次男信雄の孫で宇陀松山藩主の織田信休が二万石で入封し、以後十代に亘り織田氏が治め明治に至ります。



丹波市柏原町に現存する 柏原陣屋の表御殿

移封より十八年経た正徳三年(1713年)には、幕府より陣屋を築く事が許可され翌年に着工します。そして、長屋門や櫓や豪華な御殿などが造営されますが、文政元年(1818年)の火災により御殿が焼失してしまします。しかし、表御門である長屋門は延焼を免れました。そして、文政三年(1820年)に



柏原陣屋では最古の 建造物である表御殿

は御殿が再建されましたが、残念なことに明治維新後に表御殿を残して解体されてしまいました。



柏原陣屋の表御殿にある藩主謁見の間

現在はその五分の一を残すだけですが、当時の御殿がいかに巨大であったのが窺い知れます。

織田氏は信長の死をもって滅亡したと思われるがちですが、息子や弟の子孫が大名や旗本として血筋を残していたのです。



柏原陣屋表御殿の 車寄せ正面玄関

続き、岐阜県大垣市にある「西高木家陣屋跡」です。高木家は慶長六年(1601年)、美濃国石津郡に入封し、四千三百石を治めた旗本です。高木家は、西家(二千三百石)・北家(千石)・東家(千石)の三家からなり、旗本のうちでも、幕府から参勤交代を命じられて大名と同格の扱いを

受ける、「交代寄合」の家格でした。宗家は西高木家ですが、三家が持ち回りで隔年の参勤交代を務めていました。

陣屋は段階状総石垣で固められ、「城」と名乗れないのが不思議な程の造りです。現在も長屋門などの建造物が一部残存し、名古屋大学等には十万点を超える古文書群も残っています。平成二十六年（2014年）には国の史跡に指定され、近世幕藩領主の姿を伝える全国的にも貴重な陣屋跡です。



西高木家陣屋の東側に位置する一二三段石垣

大垣市にあり比較的近くなので、一度訪れてみる価値はあります。



西高木家陣屋に現存する長屋門 (表門)

次は、兵庫県佐用郡佐用町にある「三日月陣屋跡」です。元禄十年（1698年）、津山藩森家は無嗣断絶となり、その代わりとして、幕府は分家の森長俊に佐用郡一万五千石を与えます。長俊は三日月の地に陣屋を構えて、以後九代続き明治維新を迎えています。

そして、廃藩置県により建物は解体されますが、物見櫓と長屋門は移築さ

れ地元の公民館として使用されました。平成十五年（2003年）、発掘調査を機に元の位置に戻されており、往時の雄姿を観る事ができます。



三日月陣屋の物見櫓・長屋門と水堀跡

最後は、愛知県岡崎市大平町にある「西大平陣屋跡」です。藩主大岡忠相は八代將軍徳川吉宗の信任を受け、江戸町奉行として「享保の改革」を実行します。その後、寺社奉行に昇進し、三河国宝飯・渥美・額田の三郡に四万石の加増を受けて一万石の大名となります。

寛延元年（1748年）、額田郡西大平村に陣屋を構築しますが、大岡氏は参勤交代のない江戸定府大名なので代官を置き支配させました。忠相の所領は関東にもあり、三代藩主忠恒の代に三河国へ統合されて、以後七代に巨り大岡氏が治め明治に至ります。現在は大手門などが整備され、観光スポットになっています。



復元された西大平陣屋の大手門と土堀

全国には、まだ沢山の「陣屋跡」が存在します。またの機会に紹介出来ればと思います。

## シリーズ—口から始まる介護⑦

老健ベルヴェーハイツ言語聴覚士 本田 雄一

今回は口と脳の関係について述べてみたいと思います。嚙んで食べる咀嚼運動とか、おしゃべりをして言葉を発する、歌

って声を出すなど、これらの活動は脳を活性化します。口腔器官と脳とはつながりが深いのです。

過去の脳神経外科分野における研究や実験により、体の中でも顔面や口の周囲の顎・のど（咽頭部）などの身体部位は、特に脳とのつながりが深いことがわかっています。これらの部位、つまり摂食・嚙下や発声・発語に関係している筋肉をきたえることは、重要な脳活

性法でもあるのです。私自身も日常、摂食や言語

のリハビリ施行中に、利用者の方の覚醒度が向上してきて、ぼやっとしていた目が開いたり、過去のことや身の回りのことを思い出したりされる場面に出会います。このように、言語リハビリには認知症リハビリの側面があつて、各種認知症症状の軽減に貢献します。

また同様に「食べる」ことも効果的です。おしゃべりの後は、皆さんも喉が渴いたりお腹が空いたりしませんか？ 口を動かしたりおしゃべりすると、食思（しょくし

「食べようという気持ち、

食欲）の向上につながります。介護者はぜひ食事前に利用者とおしゃべりをしてください。話の内容は二の次、三の次。食事はスムーズに進み、食べる量も増えるはずですが、ただし、おしゃべりといつても、あくまで介護側は聞き役に回るという立場は意識しましょう。

利用者の方同士で仲良しが増えるようにお手伝いしたり、ご当人同士がおしゃべりしやすいように座る席の配置を考えることも良いですね。

余談ですが、当法人に私が入職したときの新人職員研修で特に印象に残ったのは、「テキパキと効率よく仕事を終わらせ、時間が余ったらお年寄り

と会話をするように」と講師の先生がおっしゃったことです。実際に働いてみて、こういうことだったのかと後々になって気が付いた次第です。



仲良し同士で楽しいおしゃべりを

ちなみに、ベルヴェーハイツでは毎月、言語聴覚士（私）主導で音楽療法の会を開催しています。参加は自由なので、是非お越し下さい。みんなでお越しく声を出しましょう。お待ちしております！

施設だより

作楽荘

○楽しい福笑い

特養介護士 石川 涼子

作楽荘特養のお正月は福笑いでにぎやかです。

まず、先に職員がお手本を見せて、その後入所者の皆様に挑戦していただきました。目隠しをされて、「この辺かねえ?」「どうだねえ?」と少し緊張気味でしたが、時間が経つにつれて気持ちもほぐれ、顔のパーツを持ちながらとても楽しそうでした。すべてのパーツを並べ終えて目隠しを取ると、あまりの変顔に大爆笑。中にはあわててパーツをきれいに並べ直す方もおられました。

まわりで見ている方も一緒に大笑いしながら、「もうちょつと上だよ」などと助言にも熱が入ります。普段あまり笑うことのない方々も、楽しそうに福笑いに参加されました。そして、「昔はこうやって、正月にはよく子供達と遊んでいたんだよ」と嬉しそうな表情で話をされていました。



笑門来福ですよ

過去を思い出し、昔を懐かしんでいたたく機会を増やせるように、これからも日本伝統の季節行事を生活の中に取り入れていきたいと思えます。

○節分に福を呼び込む

シヨート介護士 菅澤 洋介

二月四日には一日遅れの節分行事。なぜ節分に豆まきなのでしょう? 豆には「邪気を払う霊力」が宿っていると考えられていたそうです。豆の語呂あわせで「魔目」という字をあてて「鬼の目」とし、この鬼の目に豆を投げつけて摩滅(魔滅)させ、邪気を追い払おうという由来からです。

さて、この役目が何の仕事よりも好きな鬼志向の職員。当日はまさに本物の鬼と化し、作楽荘で暴れる? いや退治されるのです。鬼の金棒を床に叩き付け、「ウォー」と大声でお年寄りに近づくと、その迫力にびっくりされる方も。「鬼は外」と豆を鬼めがけて投げるのですが、あまりの鬼の迫力に「福は内」を言い忘れる方もちらほら。真剣に豆を投げつける皆さんに負けじと応酬する赤鬼の、大きな笑い声の渦の絶えない一場面でした。



本人お気に入り 自前の鬼衣装

世間で大流行したインフルの気配なども、この節分行事で吹き飛ばすことができ、荘内には福が一杯舞い降りました。

## 美光ハイム

### ○冬の定番「鍋会」

介護士 萩森 明子

美光 6階の食堂で、1月21日に冬の定番「鍋会」を催しました。

皆さんには各々希望があり鍋の種類を何にするか迷いましたが、多数決で決める事となつて、肉と魚が両方食べられる寄せ鍋になりました。

当日の朝には買い出しに行き、何名かに下ごし



寒い冬は鍋が一番ですね

らえを手伝って頂き、お昼に間に合うように準備しました。この日の「昼食は鍋会」と予告していたので、皆さん待ちきれない様子で、いつもより早く食堂に集まっていたらっしゃいました。

テーブルに置かれた鍋の中身が注目の的となつていたらしく、蓋を取ると「わあ、おいしそう」とあちらこちらから歓喜の声が上りました。自分で好きな物を好きなだけ取り分けられ、ついっいつもより食べる量が多くなつたようです。お腹一杯と言われていたのに、締めうどんは別腹だったのでしょうか？ 温かい鍋を囲んで食べた和やかなひと時、楽しんで頂けたようです。

## 倶楽荘

### ○お好み焼きの誕生日会

介護士 小久保 若奈

Aユニットでは今回、1月の誕生日会で4人の方のお祝いをしました。

誕生日を迎えられる方の希望でお好み焼き作り、皆さんでお祝いすることになりました。普段は部屋にこもりがちな入居者さんも、今回は楽しみにされていて、会が始まる前からリビングで待ち遠しそうな様子でした。

お好み焼きが出来上がりお出ししたのですが、会の進行を待てず、すぐに食べ始めてしまう方もみえました。少し待っていただけで、皆さんでハッピーバースデーの歌を歌ってお祝いしました。

誕生日を祝ってもらった4人の方は、今までに見たことのないほど、笑顔がはじけていました。やはり入居者の方の笑顔が一番だなと、改めて感じた瞬間でした。



笑顔はじける1月誕生日会

入居者の皆さんがイベント大好きですので、毎月1回くらいは楽しみにしてもらえような行事を企画して、笑顔がいっぱい見られるように頑張っています。皆さんいつまでもお元気でいて下さいね。

# GHくまの

## ○恵方巻&豆まき

介護士 石井靖子

GHくまからは、平成ではこれが最後となる節分会を、少し早めですが二月一日に行うことになりました。

先ずはお昼の食事時に恵方巻を提供しました。今年の恵方は東北東のやや東だそうです。皆さんのお口より少々大きいサイズの恵方巻ではありましたが、あつという間にお皿は空っぽ。美味しく食べるのに夢中のご様子でしたが、皆さん、お願い事はきちんとされましたか？  
さてさてお腹もいっぱいになった雰囲気だなど、鬼がやってきました。

今年には紙を丸めた少し大きめの豆で、皆さんが鬼をロックオン！コントロール抜群の命中に次ぐ命中と、「鬼はく外！」「福はく内！」の声にも気力を失って、鬼はあわてて逃げていきました。良い運動になって厄も払えたと、皆さんにとても喜んでいただけました。また今年も一年、皆さんと職員一同が、元気で仲良く、明るく楽しくともに過ごしましょう！



鬼を降参させて上機嫌

# ス楽荘

## ○ス楽荘のお正月

介護士 神谷宜則

ス楽荘入居者の皆さんはお正月が大好きです。

私は365日営業する特養の入所担当なので、年末年始もお盆も休まずに仕事をします。今年もしめ縄・鏡餅・門松から始めて、あれこれお正月の準備をしました。

いざ元日。縁起物のお屠蘇を口にしながら、「酒を飲むのは正月だけにしているの、本当にうまい」とご満悦。お昼のおせち弁当を見て、「今日は何の日？ あらっお正月。めでたいね」と美味しそうに完食。施設内は、ご家族と一緒に楽しむ情景で明るさ一杯でした。

近くの正八幡社の初詣では、社殿で手を合わせ「健康でありますように」と30秒じっと動かずお参りを済ませ、すつきり気分が晴れ晴れと。



社殿と門松を背に記念写真

この様にス楽荘のお正月には、当施設が、面会のご家族が、あるいは周辺地域がおめでたい雰囲気を出します。そして入居者の皆さんは、そんな雰囲気を感じながらゆったりとした時間の中で、お正月の三が日を楽しく過ごされました。

## ベルヴェューハイツ

### ○ 美味しい「甘酒」作り

老健介護士 山崎 美保

1月24日、私達ベルヴェューハイツでは毎月恒例のおやつ作りをしました。今回のメニューは、以前より入所者の皆さんからリクエストの多かった「甘酒」です。

さて、ここで甘酒についての豆知識をお教えします。甘酒は1種類ではないのを皆さんご存知ですか？ ノンシュガーでノンアルコールの「米麹の甘酒」、砂糖とアルコール入りの「酒粕の甘酒」の2種類があります。今回は前者の「米麹の甘酒」を作りました。鍋に甘酒の素と水を入れ、入所者の腕自慢の方に混

ぜてもらいました。「塩を少量入れると甘みが増してうまくなるだよ！」というワンポイントアドバースもあって、さっそく実践。なるほど、一段と風味も良くなり、驚くほど美味しくなりました。



美味しく出来ました！

そして入所者の皆さんは、美味しい美味しいと大変喜びながら、出来立てを全部平らげました。「飲む点滴」と言われる甘酒で、この寒い冬を乗り越えましょう。

### ○ 新年会は鍋料理で

デイ介護士 橋本 由依

1月15日の新年会、利用者の皆さんは鍋料理を囲みました。

事前に新年会のことをお伝えしていたため、皆さん朝から楽しみにしてくださいました。昼食の時間になりお鍋の準備をしていると、のぞき込みながら「早く食べたい！」「いい匂い！」などと言う、食いしん坊さんの声が聞こえてきました。準備ができると、

職員が利用者さんの各テーブルに着き、熱々の具を小皿に取り分けまします。今年のお鍋は、白菜やにんじんなどの野菜と鮭や鱈などのお魚、それに

鶏ツミレや鯛玉、そして豆腐など沢山の具材で彩られています。小皿を手に取り、「あたたかくて美味しいね」「久しぶりにお鍋を食べた」と周りの方と会話に花を咲かせながら、食が進みます。

そして最後はメの卵雑炊。お腹がいっぱいになるまで、皆さんお鍋を堪能されました。

「新年の楽しみ！」「来年も楽しみに元気でいたい」と皆さんにとっても喜んで頂けて、職員の私達もとても嬉しかったです。



美味しい料理に思わずピースサイン！

✿ DSC吉かわ

○自慢の絵手紙教室

介護士 西尾 有里

DSC吉かわでは、毎月ボランティアの先生をお招きして絵手紙教室を開催しています。どの施設でもやっているかも知れませんが、単に絵を描くのではなく、その題材は我が吉かわの菜園活動によって採れた野菜や果物であることを、自慢したいと思います。

と言っても、菜園活動は一朝一夕にできるものではありません。長いこと自家菜園を手がけている方や家業として農家を営まれている利用者さんから、「畝はこうして作る」とよく育つ「肥料はこうやってやるんだ」「間引き

しないと育ちが悪い」などなど細かいアドバイスを頂きつつ、職員と利用者さんが共に手を携えて作物を実らせています。

そのように先人の手を借り、知恵を借り、心待ちにしてきた吉かわ四季折々の実りを、絵手紙として残しているのです。



上手に描けたでしょうか？

今後もこの素敵な取り組みを続けながら、利用者さんの笑顔が見られるよういろいろ工夫していきたいと思っています。

✿ 麗楽荘

○一誠神社で初詣

特養介護士 井手 友莉

麗楽荘では、施設内玄関横に設置された職員手作りの大きくてりっばな「一誠神社」で、毎年恒例の初詣をします。

今年も二階と三階合わせて約八十名の入所者の方たちが、職員に付き添ってもらいながら個々に参拝されました。

参拝の様子も皆さんそれぞれですが、しっかりと手を合わせ深々とお辞儀をして拝礼される方が多かったです。その際には、「今年も健康で過ごせますように」とか、「一年健康に過ごさせて頂きありがとうございます」といった、お願いや感謝の言葉をつぶやかれていたようです。



今年も一年よろしく…

参拝後には、これもまた職員手作りのおみくじを皆さんがワクワク、ドキドキしながら引かれました。なかなか大吉は出ず残念そうな表情が多く見られましたが、それでも皆さん、初詣ができたこととても満足そうでした。

そんな入所者皆さんの表情を眺めながら、今年も少しでも多くの笑顔が見れるように頑張りたいと心に誓いました。

## ○スノードーム作り

デイ介護士 中島正江

毎日の厳しい寒さにとなく気分も下がり気味ですが、デイサービス利用時には皆さんに楽しい時間を過ごして頂きたいと考えながら、日々の支援に励んでいます。

今回は、余暇時間を活用した夢一杯のスノードーム作りで、目と心で楽しんで頂きました。



とても上手にできましたよ！

身近にあるジャム等の

空き瓶、水のり、小さなマスケットを材料として選びました。参加された

方々はそれぞれ液を混ぜ、ラメパウダー・ビーズを好みに合わせて瓶の中に投入し、完成を心待ちにしながら作業を進めていきました。最後に瓶の蓋をしっかりと閉めたら完成です。

「さあ、ひっくり返してみましようか」と職員が声を掛けると、こぼれないかと少し不安そうな表情の方もいましたが、ひっくり返すと瓶の中はキラキラと踊る世界になり、皆さんの表情が笑顔と喜びへと一転しました。これからも余暇時間を楽しくて頂けるよう、取り組んでいきたいです。


 和光ハイム

## ○和やかな新年会

生活相談員 田中育代

毎年恒例の新年会を、豊川の「和食処さと」で開くことになりました。

当日は朝から、「この服でいいかね?」「こっちの方がいい?」といったもよりおしやれをして出掛ける準備をされている方もみえ、さぞこの日を楽しみにされていたんだろう、と思いました。

「さと」に着くと、先ずは各自で食事のメニューを見て料理を注文して頂きます。色々な美味しそうな料理の写真が載っており、皆さん「これ美味しそう」「こっちはいいね」などと迷いながら選ばれていました。

新年会の席に着くと、

次々に運ばれて来る料理に目を輝かせながら、「たくさんあるね」「美味しそう」とにこやかに話していました。そして、談笑しながら美味しい食事を楽しみました。中には料理を交換されている方もいたりして、皆さんとても和やかでした。



とても満足ですよ！

新年から皆さんにとっても喜んで頂き、また一緒に外食する機会を持ってたらいいなと思えました。

## GHうらら

### ○春を呼ぶ節分行事

介護士 原田 千代子

2月3日の節分の日は毎年恒例の豆まきです。

インフルエンザ対策でなかなか戸外に出られなかった入居者の皆さんに、「鬼が来たから豆まきをしますよ」と職員が声を掛けると、すぐさま居室から出て来られ、目の前の赤鬼めがけ「鬼は外！福は内！」と日頃の鬱憤(?)も込めて、力一杯豆を投げつけていました。そのうちに観念した赤鬼は、すごすごと引き下がりながら外に逃げ出して行き、めでたく皆さんの勝利となりました。何となく見覚えのある赤鬼さん、皆さんに豆を

ぶつけられ少し気の毒な気もしましたが、これで皆さんの邪気が払われ暖かな春がやって来るだろうと、ひと安心しました。



「鬼は外～」と追い払いました

豆まきを終えて身も心もすっきりした後は、年の数とまではいきませんが皆さんで豆を食べ、恵方巻ならぬロールケーキを食べ、楽しいひと時を過ごしました。

2月に入り春までもう一息。早くお散歩に出かけられると良いですね。

## 奇楽荘

### ○合同運営推進会議

介護士 鈴木 幹奈

今年度の新規事業として、グループホームうらら・きららと合同で「運営推進会議」を開催しました。ご家族や地域の皆様を含め、約30名の方々に参加して頂くことができました。合同で開催することにより、取り組む行事の違う点などを知って頂く良い機会になったと思います。

今回の合同運営推進会議に向けて、2ヶ月前から新城市役所の方に講義を依頼し、何とか実現する事ができました。「新城市の現状」「地域包括ケアシステムについて」「超高齢社会に対し市が

取り組んでいる事」をテーマに講義をして頂くことになりました。



小島荘長による開会の言葉

市役所の方による講義は、普段の運営推進会議とは違う行政側からの内容なので、貴重なお話を聞く事ができました。質疑応答では、ご家族の立場から見て感じたこと疑問に思ったことなどにつき、質問が多く出ました。これら貴重なご意見を参考にして、今後役に立てていきたいと思えます。

# GHきりり

## ○ゆかりの砥鹿神社で初詣

介護士 柿野直美

毎年1月の恒例行事となつている初詣。入居者さんそれぞれの、若かりし頃からゆかりある神社へ初詣に出向きます。

この日は、入居者6名職員2名で砥鹿神社に出かけました。車から降りると、「寒いね」などと皆さん口々に言いながら足早に本殿へ。小銭を賽銭箱に投げ入れ、長い時間を合わせながら、真剣な表情でお参りをされていました。その後もお焚き上げ供養を見るたびに、その場で「一年守ってくれてありがとう」と手を合わせられていました。



健康で楽しい一年を祈願して

今年はまだあと僅かで平成が終わり、新しい年号になろうとしています。入居者さんのなかには、大正・昭和・平成の世を生き抜いてこられた方も数名いらっしゃいます。これから始まる新年号の世においても、皆さんに健康で楽しく日々過ごしていただきたいと思います。来年もまた、皆さんと笑顔で初詣に来ることができまますように…。

## 本部日誌

### 平成31年1月

- 4日 理事長年頭訓示(於 T.S.K)
- 16日 本部会議(於 B.V.H)
- 19日 後援会豊橋理事会(於 龍)
- 21日 デイ会議(於 B.V.H)
- 24日 採用選考筆記試験(於 作楽荘)
- 29日 採用選考面接(於 倶楽部)

### 平成31年2月

- 13日 本部会議(於 B.V.H)
- 20日 後援会新城理事会(於 麗楽荘)
- 21日 キャリアパス研修(於 麗楽荘)

## 作楽荘日誌

### 平成31年1月

- 4日 理事長年頭訓示(於 T.S.K)
- 7日 音楽ボランティア(歌の輪会)
- 七草
- 11日 鏡開き

福岡地区民生委員定例会(包括 於福岡地区市民館)

成年後見講座③(大塚副主任・福島・荒木 於 あいトピア)

12日 中野地区民生委員定例会(包括 於中野地区市民館)

14日 区市民館

14日 給食会

15日 庄内研修茶々倶楽部

15日 音楽ボランティア(日本の歌愛唱会)

15日 職種別会議(主任ケアマネ(渡邊 於 大清水センター)

16日 手芸クラブ(講師 味岡先生)

17日 居場所・鉱山カフェへ地域啓発のための訪問(包括 於小池町鉱山集会所)

18日 ガラス絵クラブ(講師 朽名先生)

18日 絵手紙教室(講師 神藤先生)

19日 後援会豊橋理事会(於 龍)

20日 誕生日会

21日 AIプラン事業座談会(白井主任 於 豊橋市役所)

22日 認知症初期集中支援チーム会議(高須 於 福祉村病院)

23日 職種別会議(社会福祉士)(白井主任・大塚 副主任 於 豊橋市役所)

23日 ビデオ演奏会(全野先生)

24日 グループホームあいちの森・複合型サービ

スあいち運営推進会議(包括 於 愛知クリエイティブ)

28日 音楽ボランティア(おたまじゃくしの会)

28日 事故防止委員会施設内研修

29日 不在者投票

31日 連絡会議

### 平成31年2月

4日 節分・豆まき

包括業務打ち合わせ会(包括 於 豊橋市役所)

6日 中野地区民生委員定例会(包括 於 中野地区市民館)

8日 福岡地区民生委員定例会(包括 於 福岡地区市民館)

11日 給食会

13日 本部会議

14日 寿司祭り

14日 広域の地域ケア会議(包括 於 大清水センター)

15日 介護支援専門員研修交流会(居宅 於 ライフポートとよはし)

17日 誕生日会

21日 職種別会議(保健師)(高須 於 南部包括)

26日 キャリアパス研修(於 麗楽荘)

28日 職種別会議(社会福祉士)(白井主任 大塚 副主任 於 豊橋市役所)

28日 連絡会議

介護保険関係事業者等連絡会全体会(於 豊橋市公会堂)

### 美光ハイム日誌

平成31年 1月

- 1日 御磨蘇会・雑煮会
- 3日 映画鑑賞会
- 8日 カラオケクラブ(講師 白川先生)
- 9日 書道クラブ(講師 岩田先生)
- 10日 茶道クラブ(講師 西口先生)
- 15日 健康体操クラブ(講師 大須賀先生)
- 17日 華道クラブ(講師 田中先生)
- 21日 鍋会
- 22日 カラオケクラブ(講師 白川先生)
- 29日 不在者投票

平成31年 2月

- 4日 節分会
- 7日 茶道クラブ(講師 西口先生)
- 12日 カラオケクラブ(講師 白川先生)
- 13日 書道クラブ(講師 岩田先生)
- 19日 健康体操クラブ(講師 大須賀先生)
- 21日 華道クラブ(講師 田中先生)
- 22日 イチゴ狩り
- 26日 カラオケクラブ(講師 白川先生)

### 倶楽荘日誌

平成31年 1月

- 1日 元旦挨拶・屠蘇(各ユニット)
- 8日 運営推進会議
- 16日 倶楽荘連絡会議
- 22日 習字教室

22日 荘内研修茶々倶楽部

29日 介護施設等の看護実務研修(鳥居 於 愛知 県看護協会、31日)

平成31年 2月

- 7日 東三河広域連合実地指導 指導監査
- 20日 倶楽荘連絡会議
- 26日 習字教室
- 26日 荘内研修茶々倶楽部

### GHC/55日誌

平成31年 1月

- 1日 元日挨拶・屠蘇(各ユニット)
- 8日 運営推進会議
- 16日 倶楽荘連絡会議
- 22日 習字教室

22日 荘内研修茶々倶楽部

平成31年 2月

- 1日 イベントランチ・恵方巻き(各ユニット)
- 6日 東三河広域連合実地指導
- 20日 倶楽荘連絡会議
- 26日 習字教室
- 26日 荘内研修茶々倶楽部

### 斯楽荘日誌

平成31年 1月

- 1日 お屠蘇
- 7日 初詣(於 正八幡社)
- 11日 運営推進会議
- 18日 ノロウイルス勉強会
- 25日 Cユニット誕生日会
- 28日 身体拘束勉強会
- 29日 Cユニットミーティング
- 29日 すしパーティー

31日 作業荘連絡会議

平成31年 2月

- 4日 斯楽荘連絡会議
- 6日 指導監査・実地指導
- 7日 節分
- 28日 豊橋市介護保険関係事業者等連絡会全体 会 榑原 於 豊橋市公会堂)

### ベルヴューハイツ日誌

平成31年 1月

- 27日 愛老協リーター研修(夏目副主任 於 日本 福祉大学名古屋キャンパス)

- 4日 理事長年頭訓示(於 TSK)
- 8日 職種別会議(堀内主任 於 あいトピア)
- 9日 認知症サポーター講座(堀内主任・菅沼・山崎 於 豊橋市立看護専門学校)
- 10日 ケアマネ研修会(堀内主任 於 B V H)
- 12日 ピアノ演奏(風の会)
- 15日 デイケア新年会(鍋料理)
- 15日 ピアノ演奏(夏目音楽教室)
- 16日 運営推進会議(堀内主任 菅沼・山崎 於 真寿苑)
- 16日 本部会議(於 B V H)
- 17日 入所者新年会(鍋料理)
- 17日 音楽療法(おたまじゃくしの会)
- 19日 一誠福祉会後援会豊橋(於 龍)
- 21日 温泉フェスタ(26日)
- 22日 施設内研修茶々倶楽部(講師 林先生 菅沼先生)
- 25日 職種別会議(社会福祉士)菅沼 於 豊橋市 役所
- 25日 生け花3F(講師 佐藤先生)
- 26日 手毬踊り(山吹里の会)
- 27日 誕生日会
- 30日 音楽演奏(ニューサウンズ)
- 31日 職種別会議(保健師)(山崎・羽田 於 あいトピア)
- 31日 音楽療法(ホの会)
- 2日 節分(豆まき)
- 4日 業務打ち合わせ会(堀内主任 菅沼・山崎 於 豊橋市役所)
- 5日 実地指導(老健)
- 7日 実地指導(デイケア)
- 9日 二胡コンサート
- 12日 職種別会議(堀内主任 於 あいトピア)
- 13日 本部会議(於 B V H)
- 14日 ケアマネ研修会(堀内主任 於 B V H)
- 14日 吉田方いきいき講座(堀内主任・菅沼・山崎 於 吉田方地区市民館)

- 16日 東三河JAZZ倶楽部
- 18日 温泉フェスタ(23日)
- 19日 ピアノ演奏(夏目音楽教室)
- 20日 一誠福祉会後援会新城(於 麗楽荘)
- 21日 音楽療法(おたまじゃくしの会)
- 22日 キヤリアパス研修(於 麗楽荘)
- 22日 生け花3F(講師 佐藤先生)
- 23日 南京玉すだれ(山吹里の会)
- 24日 誕生日会
- 26日 施設内研修茶々倶楽部(講師 林先生 菅沼先生)
- 27日 職種別会議(社会福祉士)菅沼 於 豊橋市 役所
- 27日 音楽療法(ホの会)
- 27日 職種別会議(保健師)(山崎・羽田 於 ふくろう)

### DSCC吉かわ日誌

平成31年 1月

- 4日 年頭訓示(滝川主任・野澤副主任 於 TSK)
- 7日 書初め(10日)
- 7日 季節の花週間(12日)
- 12日 餅つき会
- 18日 初詣
- 21日 デイ会議(滝川主任 於 B V H)
- 22日 施設内茶々研修(滝川主任・奥山 於 B V H)
- 23日 「食」を考える研修会(野澤副主任)
- 25日 習字教室(講師 佐藤先生)
- 26日 全体ミーティング

平成31年 2月

- 4日 豆まき・節分会
- 5日 絵手紙教室(講師 鈴木先生ほか2名)
- 6日 実地指導
- 16日 慰問鼓流和太鼓
- 18日 季節の花週間(23日)
- 22日 習字教室(講師 佐藤先生)

### 麗楽荘日誌

- 23日 全体ミーティング
- 26日 施設内茶々研修(大坪於BVH)
- 27日 習字教室(講師 滝川先生)

平成31年 1月

- 1日 お屠蘇会
- 8日 荘内研修茶々倶楽部
- 9日 書道クラブ
- 16日 認知症ケアに関わる事例検討研修(岡本 於日本福祉大学)
- 17日 生け花クラブ
- 18日 連絡会議
- 31日 入所判定会議
- 31日 中堅介護技術研修(山口於日本福祉大 学)

平成31年 2月

- 1日 クレーム対応研修(今泉江 於日本福祉 大学)
- 2日 節分会
- 6日 栄養士・ケアマネジャー研修(守田主任・ 松岡 於日本福祉大学)
- 12日 給食会議
- 13日 書道クラブ
- 14日 生活支援コーディネーターフォローアッ プ研修(熊谷・夏目有 於ウイルあいち)
- 15日 連絡会議

### 和光ハイム日誌

- 20日 入所判定会議
- 20日 後援会新城理事会
- 21日 生け花クラブ

平成31年 1月

- 1日 お屠蘇会
- 8日 荘内研修茶々倶楽部
- 10日 給食会議
- 10日 体操教室
- 18日 連絡会議
- 23日 生け花教室
- 23日 書道教室
- 24日 体操教室
- 29日 大正琴教室
- 29日 健康チェック
- 30日 和光ハイム新年会

平成31年 2月

- 2日 節分祭
- 7日 体操教室
- 12日 給食会議
- 13日 書道教室
- 15日 連絡会議
- 18日 生け花教室
- 18日 お茶を楽しむ会
- 21日 体操教室
- 21日 大正琴教室

### 奇楽荘日誌

- 27日 のんはいルロット
- 平成31年 2月
- 3日 節分会
- 15日 連絡会議
- 24日 のんはいルロット

平成31年 1月

- 1日 お屠蘇会
- 8日 荘内研修茶々倶楽部
- 18日 連絡会議
- 24日 誕生日会
- 26日 合同運営推進会議(於 富岡ふるさと会 館)

平成31年 2月

- 3日 豆まき会
- 7日 バンドミー荘内販売
- 15日 レインボーハウス荘内販売
- 28日 誕生日会

### G H K 日誌

平成31年 1月

- 1日 お屠蘇会
- 8日 荘内研修茶々倶楽部
- 18日 連絡会議
- 24日 俺ん家カフェ
- 26日 合同運営推進会議(於 富岡ふるさと会 館)
- 27日 のんはいルロット

平成31年 2月

- 3日 節分会
- 9日 鬼祭り
- 15日 連絡会議
- 16日 花祭り
- 24日 のんはいルロット
- 28日 俺ん家カフェ

### 編集後記

今冬、日本の全国各地で猛威を振るったインフルエンザ。過去10年間で最多の患者数を記録しましたが、皆さんは大丈夫でしたか？

ウイルスと人類の歴史は古く、人類はこれまで様々な抗ウイルス薬やワクチンを開発しながら、今もなお闘っています。ウイルスも驚異的なスピードで進化し続け、もはやいたちごっこです。

それでは、医療・福祉現場で働く者として、これを予防するにはどうしたら良いのでしょうか？やはり一番は「手洗い」です。原始的な手法ではあっても、これが予防の基本と言われています。

「備えあれば憂いなし」(Providing is preventing.) 何事にも、「予防・対策・準備」は万全でありたいものです。(H・K)

### 職員募集中

◆介護士・看護師(豊橋・新城)

◆正職員およびパート職員

友人・知人紹介大歓迎です!

— 本部事務局

### G H K 日誌

平成31年 1月

- 1日 お屠蘇会
- 8日 荘内研修茶々倶楽部
- 10日 初詣(於 富水神社)
- 18日 連絡会議
- 26日 合同運営推進会議(於 富岡ふるさと会館)